

# いちかわ 市史編さんだより

第12号

発行：市川市文化国際部文化振興課

発行日：2013年(平成25年)10月29日 第12号

## 市史講演会「縄文の海と市川の貝塚」

市川市の北部には、国史跡の姥山・曾谷・堀之内の三大貝塚を含めて、縄文時代の貝塚が55ヶ所もあり、全国有数の貝塚密集地域となっています。

今回の講演会では、最新の調査成果を織り交ぜながら、これらの貝塚について、わかりやすくお話します。



中台貝塚出土土器



向台貝塚第29号竪穴住居跡 昭和42(1967)年  
約4,500年前のもので、ハマグリを中心とした貝類の貝層

### 【講演内容】

#### 「縄文海進と市川の貝塚」

領塚正浩 (市立市川考古博物館学芸員)

#### 「姥山貝塚の発掘とその成果」

堀越正行 (元市立市川考古博物館館長)

#### 「曾谷貝塚の貝殻は語る」

阿部常樹 (立正大学博物館学芸員)

#### 「縄文人の食生活を科学する」

米田 穰 (東京大学総合研究博物館教授)

【日時】11月24日(日) 13時～17時 (開場12時)

【場所】市川市生涯学習センター(メディアパーク市川)2階

グリーンスタジオ(千葉県市川市鬼高1-1-4)

【定員】220名(当日先着・申込不要・入場無料)

第12号目次 2・広報広聴課旧蔵写真の整理報告(3)

4・4月～8月の市史編さん事業活動報告

HPでは、「いちかわ市史編さんだより」をカラーでご覧いただけます。